



防コミの歩き方

幅広い世代が知恵を出し合い活動中

●東灘小学校区防災福祉コミュニティ

神戸市の一番東にある東灘小学校を中心に、地域の自治会・婦人会・消防団・青少年育成協議会・民生委員・児童委員・PTAなどの団体が構成されています。他にも地元の幼稚園・保育園やあんしんすこやかセンターなどにもご協力いただき活発な活動が広がっています。



●もっと家族で参加してほしい

震災以降マンションが増え、転勤世帯が多くなるにつれて震災を体験した人も少なくなり、防災への備えや関心が低くなっているのではないかという危機感から、訓練の内容を見直し、「総合防災訓練」から「ひがしなだ☆レスキューフェス」に名称も変更。子育て世代の参加が増えました。

●要援護者への接し方

レスキューフェスでは、あんしんすこやかセンターや東灘区自立支援協議会の方から、認知症の方と接する際に気をつけることや車いすの扱い方などを参加した皆さんに教えていただきました。

●1・17を語り継ぐ

毎年、地域住民で担ってきた東灘小学校での震災語り部活動に、新たに「1・17KOBEぼうさい委員会」の学生の皆さんにもご協力いただき、より子どもたちの目線に立ったお話をしていただいています。



●今後の活動

会合での意見交換では「やっぱり日頃どれだけ近所の人と接してるかやんなあ」と、普段のくらしの中での人間関係の希薄さが課題として挙がってきます。「知らない人」が「見たことある人」に、さらには「あー○○さんやろ〜」と、ご近所同士が顔見知りになれる仕組みを行事に盛り込んでいければと考えています。

(東灘小学校区防災福祉コミュニティ)